

美学 267

「美学」の不在？ ——十八世紀中葉から十九世紀中葉にかけての「美学」の実像——	桑原 俊介	1
アレッサンドロ・アッローリ『素描の規範をめぐる論議集』における 「純然たる線」としての素描論の再評価 ——ブロンズイーノの影響に注目して——	瀬戸はるか	13
グレイソン・ペリーの初期陶芸作品の再考 ——同時代の芸術動向への応答を中心として——	中嶋 彩乃	25
野田真吉と松本俊夫 ——一九六〇年代末の観客運動をめぐる——	田中 晋平	37
ビデオで描く女性の「自立」 ——道下匡子《日本の中で女であること 海と生きる》にみるフェミニスト的実践——	原口 寛子	49
第七十六回美学会全国大会報告		
大会報告		61
発表要旨（一覧は 134-137 頁を参照）		68
書評		
吉岡 洋 著『AI を美学する—なぜ人工知能は「不気味」なのか』 平凡社、2025 年	秋庭 史典	101
庄野 進 著『聴取の詩学 粹と出来事 庄野進音楽美学論集』 春秋社、2024 年	中川 克志	107
新刊紹介 井奥陽子 著『近代美学入門』	桑島 秀樹	113
例会・研究発表会発表要旨		118
学会消息・編集後記		130
欧文要旨		140